

降誕節第1週 主日礼拝

2018年12月30日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ヨハネの福音書』10章9-11節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌520「父の御神よ この年も」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌84「ああベツレヘムよ」	—	同
聖書朗読	『詩篇』23篇1-6節(旧約926頁)	司会者	
黙想	—	同
メッセージ	「乏しいことだらけのあなたへ」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌206「飼い主わが主よ」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	長谷川睦子姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こぞりて」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山 浩司兄 会：小山 千春姉	映像・音響：伊東 一馬兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：近伸之牧師 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

1. “モノ”があり余る現代だが、私たちは乏しいことだらけ。物質的豊かさは、むしろ霊的枯渇を際立たせる
2. 羊の生態はイメージに反して極めて近視眼、利己主義的。羊飼いがいなければ自分も周囲も傷つける
3. イエス・キリストこそ永遠の大牧者(ヘブ13:20、ヨハネ10章)。この方に信頼する者はまことの平安がある

今週の暗唱聖句

「主は私の羊飼。私は乏しいことはありません」 (『詩篇』23篇1節)

[敬和学園の学生用] 牧師のサイン ()

個人、団体からの来信

2018年12月30日

教団より定期便／五十嵐、北新潟、山の下、各教会よりクリスマスカード／
「世の光」第820号／新発田キリスト教会より、クリスマスカードと領収書／
NBより「学院通信」、「会報」、クリスマス献金のお願、聖ヶ丘キャンプからの報告、入学案内

先週の集会出席者数

12/23(日)		※第一礼拝および教会学校は休会としました	
特別礼拝	男15 女22	男児3 女児6	※書道教室・月曜家庭集会は年内休会
お祝い会	男12 女23	男児3 女児8	12/24(月・振) 燭火礼拝 男5 女12 女児3
	夕 拝	男1 女1	12/26(水) 年末証し会 男6 女6
12/24(月・振)	中村さん訪問	男3 女4	12/28(金) シャベリ場夕ピタ 男- 女3
ながうらの郷	男6 女12	男児2 女児5	12/28(金) 金曜祈禱会 男- 女2

諸集会のご案内

書道教室および月曜家庭集会は年内休会			
新年礼拝	1/1(火・祝)午前11:00	教会堂	司会：近伸之牧師
水曜祈禱会	※新年礼拝に合流		
シャベリ場夕ピタ	1/4(金)は休会		問合せ：渡邊 智子姉
金曜祈禱会	1/4(金)夜	教会堂	

1/6(日) 降誕節第2週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	聖餐準備：片山 健司兄 配餐：片山 健司兄
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉		
聖餐礼拝 午前10:30	司会：近伸之牧師 集会：長谷川睦子姉 横堀 信子姉	映像・音響：山崎 敬典兄 聖餐の配餐：片山 健司兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：森田 澄子姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	12/30[近牧師] 1/ 6[片山姉] 1/13[近牧師] 1/20[佐藤兄] 1/27[片山姉]		
掃除当番順	12/30[笹川姉] 1/ 6[長谷川姉] 1/13[山岸姉] 1/20[横堀姉] 1/27[渡邊姉]		
主日の予定	C S 教師会 定例役員会	昼食後 会計後	
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教	礼拝箇所 『ルカの福音書』3章1-20節	

報告

1. 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝いたします。この後は昼食をいただき、年末の大掃除を行います。事故や怪我の無いように、協力して清掃しましょう。
2. 新年聖会について
新年1月14日(月・祝)午前10:00より万代市民会館にて宣教区新年聖会が行われます。当教会からの参加者数を確認したいと思いますので、出席される方は会堂出入り口に掲示してある取りまとめ表にご記入ください。
3. 個人のこと
先週、小関敏男兄が当教会へお越しくださり、有志にて交わりの時を持ちました。翌日には奥様から感謝のお電話があり、皆さまによろしくとの事でした。小関兄姉との関わりがこれからも祝福されますように。
- 4.

かつて中国のある偉い教師に、ひとりの人が質問しました。「あなたのような偉大な人でも悩み苦しむことがありますか」。彼は「もちろんありますよ」と答えました。「それでは地獄に落ちるといえることでもありますか」と尋ねると、「真っ先に落ちるかもしれないよ」と答えたそうです。それでびっくりして、「どうしてですか」ときくと、「俺が先に落ちてなきゃ、あなたが落ちてきたときに困るだろう！」と言ったそうです。

これらの会話が信仰的であるかどうかはともかく、イエス・キリストの死と復活について、聖書はこう書いています。「キリストの復活について、『彼はハデス(陰府、地獄)に捨てて置かれず、その肉体は朽ち果てない』と語ったのです(使徒2:31) また2世紀後半の洗礼告白文に基づく信条であり、4世紀頃に西方諸教会に普及し、今日でも礼拝の中で用いられている使徒信条の中に、「キリストは、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に降り、三日目に死人の中よりよみがえり…」と、キリストが「陰府(地獄)に降り」と告白されています。

そこで、二つの意味でキリストがあなたのどん底を受け止めてくださっている救い主だということを考えてみましょう。まずその一つは、あなたの人生のどん底についてです。

キリストの生涯のスタートは馬槽の中でした。暗く冷たく、くさい場所でした。そして神の子である救い主の、地上での最後の場所は、裏切りと憎しみ、ねたみと殺意の頂点、十字架でした。しかもよみにまで降られたのです。この方がどうして、あなたのどん底を受け止められないことがあるのでしょうか。あなたが落ち込んだところにキリストがおられるのです。ですから、そこはどん底でなく、むしろ天国なのです。

第二に、永遠のよみをキリストは引き受けてくださったということです。十字架の処刑と葬り、永遠の死は、じつは私たちに下されなければならないものでした。罪と不信の結果、神の前に立たされる私たちは、当然神の怒りに触れ、滅びへと向かう者です。しかしキリストが処刑され、よみにまで降ったことは、あなたの、そして私の「よみ」をキリストが引き受けてくださったということなのです。

キリストの十字架の死と復活こそは、私たちの二つのどん底——人生の途上の苦しみと、永遠の滅びからの救いのためです。ですからキリストが引き受けてくださったどん底は、私たちのどのような人生上の悩みをも、根本的に解決し尽くし、網羅し尽くしているのです。

湯豆腐やいのちのはてのうすあかり

久保田万太郎

急逝する五週間前に、銀座百店会の忘年句会で書かれた句。したがって、辞世の気持ちが詠みこまれているとする解釈が多い。万太郎は妻にも子にも先立たれており、孤独な晩年であった。そういうことを知らなくても、この句には人生の寂寥感が漂っている。読者としても、年齢を重ねるにつれて、だんだん淋しさが色濃く伝わってくる句だ。豆腐の白、湯気の白。その微妙な色合いの果てに、死後のうすあかりが見えてくる。湯豆腐の前にすると、いつもこの句を思いだす。そのたびに、自分の年輪に思いがいたる。けれど「名句」というべきであろう。(清水哲男・記)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



1/5(土)新年番組
「ゴスペル落語会 in 東京」

東京で行われた「ゴスペル落語会」の様子を2週にわたってお届けします。この「落語会」には、落語家・女優として活躍している露のききょうさんをはじめ、6名のクリスチャンたちが出演しました。年初め、聖書をモチーフにした福音落語でお楽しみください。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGIN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2018年度教会目標

「弟子の覚悟をもって」

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

